

響

Hibiki

心と体に やさしくひびく東洋療法

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会
広報誌

Daishinshikai Journal 2014
vol.194

特集3

2~5
ページ

一人ひとりにあわせた 体にやさしい医療 ～ 統合医療の研究・教育・実践する医療機関～

明治国際医療大学附属統合医療センター センター長 今西 二郎さん

6~7
ページ

チーム医療と緩和ケア

緩和ケアに取り組むための鍼灸師の課題

8
ページ

慢性期医療展2014 × バリアフリー2014

ワークショップ 「認知症にならない 元気なつぼ」

Acupuncturist Pickup

9~10
ページ

入院患者に対する鍼治療の可能性を研究

森ノ宮医療大学 講師 増山 祥子さん

12
ページ

大阪府鍼灸マッサージ師会からのお知らせ



発行 公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会

大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 TEL 06-6624-3331 <http://www.osmk.or.jp>

一人ひとりにあわせた、 体にやさしい医療



京都 洛西で統合医療を研究・教育・実践する

明治国際医療大学

附属統合医療センター



明治国際医療大学附属統合医療センター

センター長 今西二郎さん

明治国際医療大学 医学教育研究センター 教授
日本東洋医学会漢方専門医・指導医
日本女性心身医学会認定医、日本医師会認定産業医
インфекションコントロール・ドクター
日本温泉気候物理医学会温泉療法医

一人ひとりにあつた統合医療を

統合医療とは、西洋医学と漢方、鍼灸マッサージ、アロマセラピーなどさまざまな療法を組み合わせて行う医療です。病気の治療だけでなく、予防や健康維持・増進などもはかることができます。

2010年11月に設立された当センターでは、洛西クリニックと洛西鍼灸・柔道整復治療所を併設した形態をとっており、混合診療にならないよう配慮しています。クリニックでは一般内科診療、漢方診療、こころクリニック、また専門外来として、

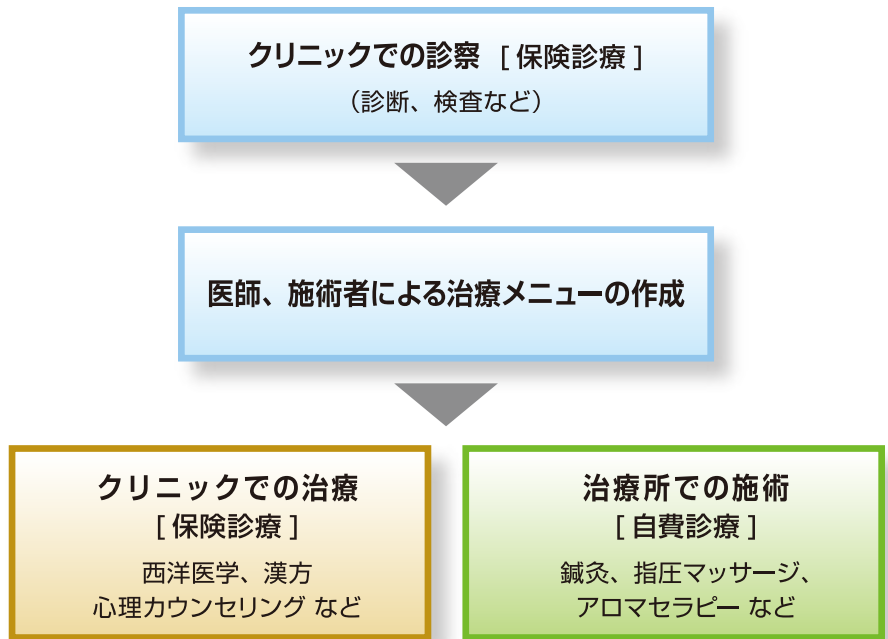
睡眠外来、疲労外来、頭痛外来、冷え症外来、めまい・耳鳴外来などを設置。治療所では、鍼灸・指圧マッサージ、メディカル・アロマセラピーなどを行っています。当センターにいられた患者は、まずは、クリニックでの診察を受けて頂き、その上で、治療方針を決めます。もし、鍼灸や指圧マッサージ、アロマセラピーなど、治療所での治療が適していると判断した場合は、クリニックの医師と治療所の施術者とで治療計画を立て、それに基づいて、治療・施術を行います。

統合医療センターの特徴は？

5つの分野(睡眠、疲労、頭痛、冷え症、めまい・耳鳴)の専門外来があります。特に睡眠障害や疲労に関しては、私が従来から研究していた分野であり、自身が洛西クリニックで診察を行っています。頭痛に関しては、鍼灸が中心になることが多いです。冷え症には、漢方が効果的であり、鍼灸やアロマを併用す



統合医療センターにおける診療システム



医療センター内は電子カルテ化されており、医師や鍼灸マッサージ師が常に情報を共有して、治療する仕組みが構築されている

るなど、医師と施術者が連携して医療を行うことが多くあります。めまい・耳鳴も、鍼灸が中心になることが多いですが、めまいに関しては漢方も効果があるので併用しています。耳鳴には漢方の効く例は少ないようです。

来院患者の傾向は？

洛西クリニックに来院される患者は、一般に多い高血圧、糖尿病などの内科疾患もありますが、睡眠時無呼吸症候群や慢性疲労症候群、単純に疲労で困りの方など、専門外来を目指す方が半数ほどおられます。

睡眠外来では、いわゆる不眠症が一般的に多く、生活指導や

睡眠薬、漢方を併用しています。薬に抵抗があるケースには、アロマセラピーマッサージを活用する場合もあります。また、痛みに関しては鍼灸との連携が非常に多いです。来院患者の半数は鍼灸や指圧マッサージを求めて来られています。運動器疾患や痛みの疾患、肩こりなどで来院される方も多いです。統合医療を行っているということが、当センター独特の傾向だと思います。

他の医療機関との連携は？

当クリニックは、内科と精神科ですが、専門分野がとても広いので、循環器や消化器系を専門とする他の医療機関へ紹介することがあります。また整形外科疾患の患者も多く、多くは整形外科で診断された後に、症状の改善が見られず、来院される患者が多いですが、かんだんな五十肩などの疾患を除き、難しい疾患もありますので、一度も整形外科を受診されていない患者に関しては、いったん整形外科



科の専門医へ紹介をして、確定診断を受けていただいております。その後、治療所で鍼灸の施術を受けているケースが多いですね。

鍼灸マッサージ師との連携について

当クリニックでは、初診患者など必要な情報についてあらかじめ施術者に伝えておりますが、医師から依頼するという形態ではなく、電子カルテ自体が統合医療センター内で連動したシステムとなっており、患者情報を共有できる体制となっておりますので、より緊密な連携を取っております。週1回は定期的に、センター内で会議を行っています。今後は、症例検討

会を実施することを目指しています。

一般的に、地域の診療所と別施設である治療院が連携する上では、統合医療を実践する上で、難しいハードルがあります。恐らく多くの医師は鍼灸がどういう疾患の対象になるか、またその効果について、ご存じない方が多いのではないのでしょうか。

例えば、当センターにはめまい・耳鳴の専門外来があります。耳鳴に関しては耳鼻咽喉科にて色々な検査をした結果、異常がないと診断され、処置のしようがないケースがよくありますが、一部の耳鳴に関しては鍼灸がよく効く場合があります。そのような場合、うまく連携ができていけば、患者に治療の選択肢が増えるわけです。

また、通常痛みに対して、整形外科ではリハビリを行うなどの対処法があるが、一般の診療所では、痛みへの対処として鎮痛剤を出す程度しか方法がありませんので、ペインクリニックを紹介することが多いと思います。鍼灸師を紹介することはほ

ぼ念頭にはないでしょう。一部は鍼灸で効果のあるものもあるのですが、そのあたりの認識を持っていたきたいですね。

現在、医学部の教育では、全医学部で東洋医学の講義があり、「和漢薬について概説できる」教育指針にのっとり講義が行われています。一部の大学で鍼灸を1〜2コマ取り上げているところもありますが、全ての医学部教育において、講義や体験ができる環境があれば、どういう疾患に使えるかなど理解が深まると思っています。医師が行うのではなく、鍼灸師に任せればいいわけですから。

統合医療を実践する中での課題

一番大きい問題は、混合診療の問題ですね。高度先進医療に關しては取り上げられています、補完・代替医療に關しては、まったく追い風はありません。現代西洋医学と補完・代替医療を統合して行う医療であることから、同一疾患に対して併用できない鍼灸の療養費制度は非常



プライバシーに配慮された全室個室の治療室



附属統合医療センターには、洛西クリニックと鍼灸・アロママッサージの治療所が併設されている



明治国際医療大学 保健・老年鍼灸学講座
廣 正基 准教授

に使いにくいものであり、統合医療になじまないものになっていきます。普通に健康保険が使えれば、医療機関内で出来ると思います。普通、今の段階では、現状でどうするかを工夫していくしかない状況です。

あと、医師側には補充・代替医療に関する知識を持つてもらうことが必要です。当センターには、大学に所属する講師陣を十分に備えており、以前から、医師向けの鍼灸講座を開催したいと考えていますが、物理的な時間の問題と医師側へのアピールが難しい問題です。医学部における卒前教育と卒後の医師にも教育していく両面が必要だと考えております。

■連携する鍼灸師の立場から

当センターでは、医師に補充・代替医療に関する理解が深く、非常に働きやすい環境です。以前、私(廣准教授)は大学附属京都駅前鍼灸センター(平成25年3月閉院)に所属しておりました。鍼灸治療単独の施設でしたので、医師との連携に関しては、個々の施術者が外部の医療機関と連携していましたが、当センターでは、患者への施術の効果に関しても、直接聞き取った内容以外に、電子カルテを通して医師に直接話している内容も分かり、治療の効果を再評価することも可能になっています。

■鍼灸を選択される患者の傾向は

私が担当しているケースでいえば、やはり運動器系の疾患が多いです。他には、健康管理や養生を目的とする方から、更年期障害、自律神経失調症、パーキンソン病をはじめとする神経系の難病など、多様な疾患の方が希望されます。めまい・耳鳴、

頭痛、冷え症など、当センターの専門外来を窓口にした患者も多く来られますが、遠方から来られる方も多く、やはり患者にとっては各地域でも安心して施術を受けられる環境が大事だと感じています。地域で開業している鍼灸師の方と連携を取りたいとも思っていますが、各治療院の情報が少ないので、どこへ紹介したらいいか分からない一面があります。

鍼灸師に関して言えば、患者だけではなく、医療関係者にも十分に説明し納得していただけるものを提供できる施術者が望まれます。伝統を重んじる姿勢も大切ですが、ある程度、治療法が統合されるよう、業界としてもガイドラインを作成する必要性があると思います。

■地域に密着した取り組み

明治国際医療大学附属統合医療センターでは、病気の治療だけでなく、さまざまな疾患の予防プログラムも用意し、市民、医療従事者、学生のための講演、

講義、講習会を開催するなど、地域に密着した取り組みを行っていることが取材で分かった。

現在、統合医療を実践している国内の医療機関は約20箇所程度といわれており、医療機関において、鍼灸を研究目的で行っている機関はごく少数であるが、今西氏は「日頃から地域で医師とのネットワークが構築されていれば、わざわざこのような施設を作らなくても統合医療は実践できると思う。」と語っている。

健康保険や混合診療の問題など課題の多い制度の狭間で、当センターでは、鍼灸やマッサージが統合医療の一部として、うまく活用されている。近年、地域包括ケアシステムの構築により、広範な多職種が連携しているが、患者の健康を包括する医療においては、まさに統合医療が重要とされており、地域の診療所や治療院がうまく連携できるネットワークづくりが望まれる。

(取材・photo 秦 章)

チーム医療と緩和ケア

～ 地域医療基盤開発推進事業 研究報告から見る

緩和ケアに取り組むための鍼灸師の課題 ～



緩和ケアに関する鍼灸師向けセミナー



明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座
篠原昭二 教授

平成26年2月22日に京都・洛西ニュータウン内の京都エミナースで「鍼灸師のための緩和ケア入門セミナー」が開催された。世話人は、明治国際医療大学基礎鍼灸学講座篠原昭二教授。本セミナーは、統合医療に関する厚生労働省科学研究事業の研究成果を元に、これから緩和ケアに取り組もうとする鍼灸師を対象として行われた。

外科病棟における鍼灸臨床

明治国際医療大学では、附属病院と鍼灸センターが隣接し、従来から東洋医学を組み込んだ医療を行っている。附属病院 外科部長の糸井啓純教授によると、同大学で

は外科診療全般に東洋医学（鍼灸治療）を導入し、外科を習熟した鍼灸師とともに緩和医療に関する臨床研究に取り組み、一定の成果を上げている。外科領域での鍼灸治療は、術前患者の体調管理、術後の疼痛、不快な症状の管理、開腹手術後の麻痺性イレウスに対する治療、化学療法（抗がん剤）や放射線治療の副作用対策、緩和医療などを対象としているが、外科病棟という特殊な環境は、鍼灸師にとって、現代医療・外科医療・緩和医療を理解するための修練の場にもなっている。また、鍼灸師が現代医療に必要な能力として、特に東洋医学を他のスタッフに理解させる能力や患者に明確な提案（鍼灸治療）ができる能力が求められるとしている。



明治国際医療大学附属病院 外科部長
糸井啓純 教授

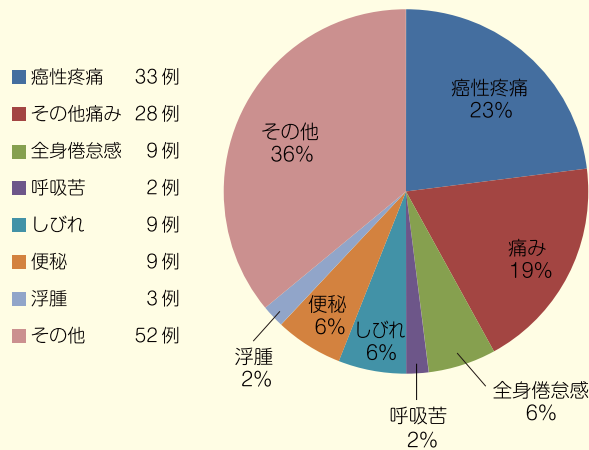
周辺症状に対するケア



明治国際医療大学附属病院外科
神山 順 教授

同附属病院外科の神山順教授は、緩和ケアにおける痛みの治療（WHO方式を中心として）について解説。オピオイド、非オピオイド鎮痛薬の使い方など、段階に応じた除痛の手段はさまざまであるが、疼痛そのものの緩和だけでなく、痛みの閾値に影響する周辺症状を緩和することで、疼痛の閾値を下げる事が可能である。また、睡眠や精神の安定、軽い運動のほか、マッサージや鍼灸が有効的な手段でもあり、がん患者の痛みを正しく評価しながら、抗がん治療との並行、疼痛治療のアルゴリズムに従って治療を行うとともに、何より患者のケアとコミュニケーションの重要性を強調されている。

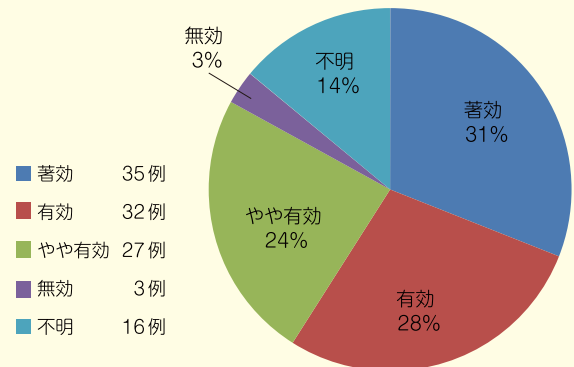
表1 愁訴別分類 (重複あり)



鍼灸治療が適応となる症状

- | | |
|-------|-----------|
| 疼痛 | 全身倦怠感 |
| 食欲不振 | 四肢の冷え |
| 腹部膨満感 | 軽度の浮腫 |
| 便秘・下痢 | 肩こり、しびれ |
| 悪心・嘔吐 | イライラ感 |
| 咳嗽 | 不安感(精神安定) |
| 呼吸困難感 | 不眠 |

表2 緩和ケアにおける鍼灸治療の効果



代表：篠原昭二：H22～25年厚生労働省科学研究費 医療 一般 024 (22210901) より引用



明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座
和辻 直 准教授

同附属病院における緩和ケアの病期別分類では、ターミナル中期、前期、化学療法・放射線療法の術前術後の時期が約8割を占めている。愁訴別分類(表1)では、癌性疼痛がもっとも多く、その他多岐にわたっている。また、緩和ケアにおける鍼灸(表2)は約6割に効果があるとの結

緩和ケアにおける鍼灸臨床

比較的コミュニケーションが長くとりやすい鍼灸師の診療スタイルは、診療を通して精神的援助を行いやすいことや患者の身体に良く触れ(タッチケア)、身体から感情や心理状態をもうかがうことができるなどの特徴がある。但し、チーム医療である緩和ケアの基礎知識を十分に理解した上で、守秘義務・言動責任・行動責任・医療連携など、医療人として当然心得ておかなければならないことに留意していただきたいと和辻准准教授は解説された。

症例報告では、病院内における緩和ケアの実践が報告され、チーム医療の中では、まず緩和ケア領域を十分理解し、チームに鍼灸を理解してもらおうことから始まる。コツコツとその積み重ねの中から、チームでの役割を見出す力も大切であると報告された。

果が報告されており、症状の変化に応じて、微細な毫鍼、円皮鍼、鍳鍼、温熱治療器等を使い分け、出来るだけ短時間(5分〜15分)で軽微な刺激による治療をしなければならぬ。スピリチュアルな面に関しては、日本人は特定の宗教の信仰は少ない傾向にもかかわらず、日本特有の神仏の祭りごとや死生観をもつ一面があり、年代によっても変化してきている。事前に患者の人生観や死生観などを知っておくため、アセスメントを活用することもスピリチュアルケアに有効的な手段であることが紹介された。

今回の研究報告を兼ねたセミナーは、厚生労働科学研究費のサポートにより、大学を拠点として、学外の私的・公的医療機関において緩和ケアの臨床研究が行われたが、今後、広く学外で鍼灸による緩和ケアの普及を展開される予定である。



明治国際医療大学

旧称：明治鍼灸大学



鍼灸学部
鍼灸学科
80名

保健医療学部
柔道整復学科
60名

看護学部
看護学科
60名

大学院
鍼灸学研究所 — 修士課程 — 博士後期課程
— 修士課程 (通信教育課程)

[特色]

- キャンパス内の附属病院で活きた医療を学ぶ
- 徹底した少人数教育と充実のサポート体制
- 健康・スポーツ関連資格の取得を支援

充実の特待生制度 (授業料半額減免、最長4年間)

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

TEL **0771-72-1188**

明治国際

検索

ACCESS

JR桂川駅・阪急桂駅から直通バス 60分
JR京都駅から山陰線鍼灸大学前駅 59分



学校法人 明治東洋医学院 since 1925

超高齢社会を支える慢性期医療の専門展

慢性期医療展 2014 ×

バリアフリー 2014

(公社) 大阪府看護協会ワークショップ

「認知症にならない 元気なつぼ」



西日本最大規模の医療・介護・福祉全般を網羅した慢性期医療展とバリアフリーの展示会が4月17日～19日、インテックス大阪で開催され、3日間で約96,000人もの来場者で賑わった。

今回で第4回となる慢性期医療展では、各種セミナーやワークショップが行われ第4会場の(公社)大阪府看護協会のブースでは、認知症に関するセミナーを実施。

(公社)大阪府鍼灸マッサージ師会からは、西村久代副会長による「認知症にならない 元気なつぼ」の講演が行われ、認知症を予防するための健康法として、手足や頭のつぼの紹介と自分で出来るつぼマッサージが実演された。

セミナーの参加者はしきりにメモをとられ、姿勢が悪くならないよう心がけることや手先を動かして健康を維持することが認知症予防にもつながるとの解説に、セミナーの途中から多くの参加者が姿勢を正しながら、一緒につぼをマッサージする姿が印象的なワークショップとなった。





脊椎圧迫骨折の既往を持つ腰痛の患者さんへ鍼治療を行う増山さん。
鍼治療の希望者には、医師の同意のもと、患者に対して事前説明を行った上で同意書を記載してもらい、無料で行なっている。

Acupuncturist Pickup

臨床と教育分野ではたらく
鍼灸師の活動をピックアップ

入院患者に対する 鍼治療の可能性を研究

大阪北摂にある医療法人協和会千里中央病院は

2011年に森ノ宮医療大学と相互医療連携を結び

鍼灸師の大学教員による鍼治療を院内に導入。

病棟患者の鍼治療を担当している増山さんにお話を伺いました。

回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟、 療養病棟と入院患者の対象はさまざま

臨床鍼灸学が専門分野の増山祥子さんは、大学では学生への講義と臨床実習を担当。「日本の鍼灸臨床試験の質の評価」を研究テーマとしている。

提携医療機関である千里中央病院には、大学の別の教員と交代で週1回ずつ出向し、依頼のあった入院患者に対し、鍼治療を行っている。病院の職員ではないため、病棟のメディカルスタッフとの連携が難しい一面があるとのことだが、空き時間を利用して希望する職員へ鍼治療を行うなど、職員とのコミュニケーションを図ることで、導入から3年が経過した現在、徐々に病院内での鍼治療に対する認知度が高まっているという。

「鍼を希望する入院患者さんの症状は、入院の原因となっている疾患そのもの場合もあります。が、入院生活に伴う肩の痛みや背中、腰の痛みがもっとも多いです。これらの痛みに対しては、外用薬を処方されることが殆どですが、鍼治療も選



森ノ宮医療大学 講師
鍼灸師 増山祥子さん

択肢の一つとして選んでいます。」

取材当日、療養病棟に入院しているAさんが鍼治療を受けながら、「普段は毎日痛くて痛くて、睡眠薬を服用してもなかなか眠れないんですが、鍼を受けると身体が軽くなり、よく眠れるようになります。」と答えてくれた。脊椎圧迫骨折や複数の持病を抱えているため、服薬は欠かすことができないが、鍼治療を併用することで、入院生活の質にプラスの影響がみられているようである。

病院鍼灸の実践と課題

病棟内で鍼治療を行うためには、医師や看護師等医療スタッフとの連携が欠かせない。そもそも鍼治療の対象となる分野は多岐にわたるが、実際に医療機関内の活動となると、教育に携わっている増山さん自身も、それぞれの専門分野において、多職種との共通言語に適応可能なポトムアップが必要であると実感されている。また、患者が服薬管理されている入院病棟は、鍼治療の効果等を研究する上で非常に恵まれた環境である。増山さんの臨床データによると、実際に鍼を受けた患



千里中央病院は亜急性期や慢性期医療を担う医療機関として、緩和ケア、回復期リハビリ、療養医療タイプの病棟を備えている。



インシデント対策として、使用したディスポ鍼と鍼管の数が合っていることを確認している。また、刺した鍼と抜いた鍼の本数をカルテに記載している。

者の中で、抗凝固剤を使用しているケースが多くみられるものの、鍼による血腫の有害事象は現在まで0件と報告されている。今後は更にデータを蓄積し、薬剤種別の分析も視野に研究を進めている。

最近、認知症に対するユマニチユードのケアで、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の要素が話題になっている。ケアに時間を費やせない病院スタッフが多いい中で、そのケアが可能なのは、比較的長い時間患者との接触を持つことができる理学療法士などのリハビリスタッフとともに、鍼灸師もその役割を担えるのではと増山さんは考えている。

「認知症に限らずユマニチユードの考え方は、患者と接する上で共通のものであります。4つ目の要素である『立つ』は患者の前向きな心が起こすことであり、鍼灸では『治る』にも値すると思います。患者を治療へ向かわせる意識転換に力を貸す医療が最近は少なくなっているように感じますが、他の医療スタッフより比較的的患者と触れ合う時間が与えられている鍼灸師にも、このようなケアは可能です。また多くの鍼灸師が教えられずとも自然に行ってきた治療スタイルに類似していると感じます。しかし、それだけでは病院での鍼灸師雇用にはつながらない。そのため、数だけではなく質の良い鍼灸臨床研究を数多く出し認知されることが、私たちに与えられている課題の一つだと考えています。」



人のこころを潤す医療人に



森ノ宮医療大学

保健医療学部

鍼灸学科 [60名] | 理学療法学科 [60名] | 看護学科 [80名]

大学院

保健医療学研究科 保健医療学専攻 修士課程

<http://www.morinomiya-u.ac.jp/>

0120-68-8908

[TEL]06-6616-6911 [FAX]06-6616-6912

[E-mail]univ@morinomiya-u.ac.jp

〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16

大阪市営地下鉄・中央線「コスモスクエア」駅②番出口より徒歩1分(南へ約90m)



保健医療分野での
高度な専門的知識と技能を
持った医療人と研究者を
養成します。



関西医療大学 大学院

大学院	●保健医療学研究科（修士課程）
大学・保健医療学部	●理学療法学科 ●臨床検査学科
大学・保健看護学部	●はり灸・スポーツトレーナー学科 ●ヘルスプロモーション整備学科 ●保健看護学科

〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1
TEL 072-453-8251
E-mail info@kansai.ac.jp
http://www.kansai.ac.jp

鍼灸net

はり・きゅうのポータルサイト

<http://www.shinkyu-net.jp/>

国民に東洋医学の一分野である鍼灸をご紹介します。鍼灸の理論と考え方、鍼灸の効果、鍼灸に関する最新情報やイベント情報、鍼灸治療を受けてみたい方、鍼灸師をめざす方、メディア向けの情報も掲載しています。



鍼灸net（しんきゅうネット）は、以下の4団体が協力して設立した任意団体「国民のための鍼灸医療推進機構」が運営管理しています。

- ◆公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会
- ◆公益社団法人 日本鍼灸師会
- ◆公益社団法人 全日本鍼灸学会
- ◆公益社団法人 東洋療法学校協会

AMS net

安心・安全・効果的なあん摩マッサージ指圧ネット

<http://www.amsnet.me/>

あん摩マッサージ指圧をご紹介します。あん摩マッサージ指圧の教育と安全性に関するガイドラインも掲載しています。



あん摩マッサージ指圧ネット（AMSnet）は、以下の7団体より設立された任意団体「マッサージ等将来研究会」が運営管理しています。

- ◆公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会
- ◆公益社団法人 日本あん摩マッサージ指圧師会
- ◆社会福祉法人 日本盲人会連合
- ◆公益社団法人 全国病院理学療法協会
- ◆公益社団法人 東洋療法学校協会
- ◆日本理療科教員連盟
- ◆一般社団法人 日本東洋医学系物理療法学会

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会からのお知らせ

平成 26 年度

生涯研修会

入場無料 (資料代 1,000 円) 他職種、一般の方も聴講できます

会 場：大阪府鍼灸マッサージ会館 大阪市阿倍野区昭和町 2-10-5 TEL 06-6624-3331

後 援：一般社団法人 大阪府医師会、公益社団法人 大阪府看護協会、公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会

日 時	演 題
6月15日	12:30~14:00 食育と健康 ～食生活から見える日本の過去、現在そして未来～ (公社)大阪府栄養士会 会長 藤原 政 嘉
	14:10~15:40 認知症への看護 (医)ハートフリーやすらぎ 訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ 認知症認定看護師 笹山志帆子
	15:50~17:20 認知症への鍼灸マッサージ (公社)大阪府鍼灸マッサージ師会 副会長 西村 久 代
7月27日	12:30~14:00 緩和ケアにおける鍼灸 明治国際医療大学 鍼灸学部 准教授 和 辻 直
	14:10~15:40 医療機関における鍼灸 (学芸)花田学園 (一財)東洋医学研究所 吉 川 信
	15:50~17:20 虫垂切除痕が身体の痛みに及ぼす影響について (学芸)花田学園 (一財)東洋医学研究所 吉 川 信
8月24日	12:30~14:00 腰下肢痛 (一社)大阪府医師会 副会長 茂松 茂 人
	14:10~15:40 血液検査から診る健康管理 (公社)大阪府臨床検査技師会 会長 運天政五郎
	15:50~17:20 新しい東洋医学の診察法 関西医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 中 吉 隆 之
10月26日	12:30~14:00 ホームドクターのすすめ (一社)大阪府医師会 理事 加 納 康 至
	14:10~15:40 呼吸理学療法 ～フィジカルアセスメントと胸郭可動域訓練の意義～ (公社)大阪府理学療法士会 理事 千 葉 一 雄
	15:50~17:20 認知症に対する鍼灸の効果 明治東洋医学院専門学校 教員養成学科 学科長 矢 野 忠
平成27年 1月25日	12:30~14:00 不妊治療に関して必要なもの IVFなんばクリニック 統合医療部門 粉川知也子
	14:10~15:40 妊産婦へのケア (一社)大阪府助産師会 会長 大 平 純 子
	15:50~17:20 婦人科疾患への鍼灸 大阪医療技術学園専門学校 東洋医療技術教員養成学科 学科長 奈 良 上 眞

府民公開講座 2014

入場無料 定員250名 (先着順)

13:00 ~ 14:30

在宅での看取り ～終末期への取り組み～

淀川キリスト教病院訪問看護ステーション

所長 高澤 洋子

14:30 ~ 16:00

社会と考えるiPS細胞

京都大学iPS細胞研究所 上廣倫理研究部門

准教授 八代 嘉美

山中伸弥教授をはじめ、八代嘉美准教授ほか所属研究員による、上廣(うえひろ)倫理研究部門 開設記念シンポジウムを以下のWEBサイトで視聴できます

http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/faq/defense_2.html



● 日 時：平成26年11月30日(日) 開場時間 12:30

● 会 場：天王寺都ホテル 大阪市阿倍野区松崎町1-2-8
TEL 06-6628-3200

● 後 援：一般社団法人 大阪府医師会
公益社団法人 大阪府看護協会
公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会

■発行日/2014年5月1日 ■発行人/伊藤久夫 ■編集・発行所/公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会総務部
〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 2-10-5 (大阪府鍼灸マッサージ会館) TEL 06-6624-3331 FAX 06-6624-5141